



事業所名	そらいろチョコちしま		
営業時間	11:00~19:00	送迎実施の有無	有
法人理念	「できた、やったね」の成功体験をひとつずつ積み重ねていくことで自己肯定感をどんどん高める療育で、お子さまの成長を総合的にサポート。 こどもたち一人ひとりの「自立」に向けた支援を行います。		
支援方針	こどもたちが「安心して過ごせる場所」を提供し、自己肯定感を高め、ひとつでも多くのことができるようになることを目標にしています。一人ひとりの個別の目標達成に向けて「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の5つの領域から総合的にアプローチし支援します。		

▶ 本人支援

心と身体の健康の維持・増進

日々の療育で、心と身体の健康の維持・増進に努めています。こどもの健康状態のチェックや検温を行っています。生活に必要な基本的技能、手洗い、衣服の着脱、整理整頓、食具の使い方・排泄、身だしなみの整え方、危機認知などの生活スキルの向上を目指します。

日常生活スキルの段階的な学習

【ルーティンの確立】毎日のスケジュールを視覚的に示す(ホワイトボードにタイムスケジュール)ことで、予測可能性を持たせ、不安を軽減します。

【タスクの多様化】例えば手を洗うレッスンでは複雑なタスクを「水を出す」、「石けんをつける」、「手をこする」、「水で流す」、「タオルで拭く」といったステップに分けて一つ一つ丁寧に教えていきます。

【繰り返しと練習】繰り返し行うことで習慣化し、こどもの自立度を高めていきます。

【事業所外での活動】買い物ごっこ、乗り物体験や契約畑での農園活動(食育)も取り入れ、それぞれのこどもに適した身体的・社会的訓練を行います。

健康・生活

感覚統合運動を通して心身を成長させる

発達特性のあるこどもには、体を思い通りに動かすことが苦手な傾向があります。これは、運動をするための情報を脳で処理したり、それを正確に筋肉へ伝えることができないからです。公園あそびや散歩、粗大運動や体操、工作(微細運動)やクッキングのプログラムでは感覚を刺激し、それらが脳内で正しく統合されようよう、こどもが「楽しい」「もっとやりたい」と感じ、主体的に取り組めるように行います。

姿勢の改善、書字能力の向上、衝動(感情)のコントロールを身に付ける

サーキット運動・体操を通して基礎的な筋力を身に付けることができます。それにより、姿勢の改善、書字能力の向上、衝動(感情)のコントロールなどを身に付けることが期待されます。

運動・感覚

数の認知・空間認知・力加減の認知の向上

運動や体操、工作、レクリエーションは数の認知・空間認知(折り紙、積み木、ブロック、紐通しなど)やビジョントレーニング(紙の迷路、パズル)、力加減の認知(ボールを蹴る・投げる・キャッチ、新聞破り、リズムゲームなど)・数への意識、理解を育むことを目的としています。

認知・行動

脳の同時処理機能を養う

同時に複数の課題をクリアすることで、脳の同時処理機能を養います。(例えば複数のボールを投げ、こどもが色を識別しつつキャッチ、音楽に合わせて手拍子と足踏みを同時に行う)

自己管理能力の向上

時間管理の習得を目的にタイマーやアラームを使い、活動の切り替えをスムーズに行います。

言語聴覚士による発語トレーニング

言語聴覚士によるイラストやカードなどを見て、得られた情報を言葉にして発する訓練。

【言語理解・表出訓練】発語訓練よりも複雑なイラストや文字カードを使い、視覚情報や言語聴覚士の発言を理解して、言葉にする訓練や、【構音訓練】発声発語器官をうまく動かせるように舌の運動をしたり、口を大きく動かす練習をしたりなどの専門療育を受けることができます。

言語・ コミュニケーション

言語の習得や他者との意思伝達の支援

絵本の読み聞かせや、こどもが楽しく参加しやすいレクリエーション、ルール性のある遊びを取り入れ、言語の習得や他者との意思伝達が円滑にできるよう支援を行います。

社会の中で暮らしていくためのスキルの獲得を目指す

SST(ソーシャルスキルトレーニング)では、社会の中で暮らしていくためのスキルの獲得を目指します。「あいさつ」「おともだちの気持ちを理解する」など一人ひとりの特性に合わせ、言語的・非言語的なコミュニケーションを獲得するための支援を行います。

複数の物の見方を養う

異年齢で協力活動・レクリエーションや公園あそび・おでかけ(遠足)、クッキングを行うことにより、年齢や能力に合わせたコミュニケーション方法やルール等を考えることとなります。そのことにより、複数の物の見方を養うことが可能です。

人間関係・ 社会性

ルールや言葉を理解する力・他人と協調する力を養う

勝ち負けのあるあそび(UNO、トランプ、将棋)や、役割分担のあるあそび(ごっこ遊び)、掃除、片付け・スケジュールに合わせた行動の切り替えを行うことで、ルールを理解する力、言葉を理解する力、他人と協調する力、などを養います。

集団あそびにも参加できるような支援

周囲のこどもたちとあそぶことが苦手なこどもも、ルールを工夫することで段階的に集団あそびにも参加できるように支援します。

▶ 家族支援

日常生活や子育ての負担を軽減し、家族全体の生活の質を向上や、精神的なサポートを提供することを目的としています。

情報提供と相談対応

保護者が子育てや障がいに関する悩みを気軽に相談できる場を提供し、職員がアドバイスや情報提供を行います。

レスパイトケア

家族が一時的に休息を取れるように、こどもを預かることで保護者の負担を軽減を目的とします。

ペアレントトレーニング

ペアレントトレーニングの外部研修を受けた専門職員が行う保護者向けのプログラムです。療育を家庭でも実践できるようにすることを目指しています。保護者がこどもの特性を理解し、適切な接し方や行動支援の方法を学ぶことで、こどもの発達を促し、家庭での困りごとを減らす効果が期待されます。具体的には、良い行動を増やすための褒め方や、問題行動への対応方法などを学んでいただけます。

家庭の状況を反映した個別支援計画

児童発達支援管理責任者が作成する個別支援計画に、保護者の意見や家庭の状況を反映させることで、こどもの支援が家庭の先に即したものになります。これにより、家族全体の生活がよりスムーズに進められるよう心がけていきます。

▶ 移行支援

こどもが次のライフステージ(小学校、小学校から中学校、中学校から高等学校、あるいは学校卒業後の就労や成人期生活)にスムーズに移行できるようにサポートすることを目的としています。

学校や次の支援機関との連携

こどもが通う学校、次の段階で関わる支援機関(例:特別支援学校、就労支援事業所)と情報共有を行います。進学や卒業後の環境変化に備え、教員や支援者と連携して、特性や必要な配慮を伝えます。

生活やスキル自立スキルのトレーニング

移行後の生活に必要なスキルを身につけるため、日常生活動作(ADL)の練習や、金銭管理、時間管理、交通機関の利用方法などを療育プログラムに組み込みます。例えば、公共交通機関を使った外出訓練や、簡単な買い物の練習(買い物支援)を行っています。

▶ 地域支援・地域連携

関係機関とのネットワーク構築

地域支援は、子どもや家族が孤立せず、地域の中で自然に生活できる環境を整えることを目指します。

地域連携は、相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所と連携を図り、園や学校、併用利用している事業所と情報共有を行っています。

▶ 職員の質の向上

研修を通じたスキルアップ

定期的な内部研修では、事業所内で講習会やワークショップを開催し、発達障がいの理解、支援技術、コミュニケーションスキル、虐待研修、身体拘束研修、人権擁護研修、ハラスメント研修などを様々な研修を計画的に行っております。外部研修では事業所内だけでは得られない多様な視点や実践ノウハウを学び、職員の質の向上に取り組んでいます。「感覚統合療法」や「応用行動分析(ABA)」の実践講座、「ソーシャルスキルトレーニング」や「ペアレントトレーニング」など

実践を通じたスキルアップ

OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)での新人職員や経験の浅い職員に対して、先輩職員が現場で直接指導を行い、実践的なスキルを身につけるける取り組みをしています。

チームワークと情報共有の強化

毎日のスタッフミーティングでは、子どもたちの支援の進捗や課題を共有し職員間で意見交換を行い、それを基に職員間で振り返りや改善策を検討して統一感のある支援を行っています。

モチベーション維持のための環境整備

適切な評価とフィードバックを行い職員の努力や成果を定期的に評価し、肯定的なフィードバックを評価しています。ライフバランスの支援として有給休暇の取得を奨励するなど、職員が無理なく働ける環境を作り、これにより長期的な定着率も向上できるようにしています。

メンタルヘルスケア

精神的な負担が大きい仕事であるためストレスチェックやカウンセリングの機会を提供し、職員の心の健康をサポートしています。

▶ 主な行事等

季節のイベント	(1月)初詣、(2月)節分、バレンタイン、 (3月)ひな祭り、卒業・卒園イベント、(4月)お花見、(5月)こどもの日イベント、 (8月)夏祭り、(10月)ハロウィンパーティー、(12月)クリスマスパーティーなど
おでかけ	遠足 【実施例】遊園地、動物園、水族館、科学館、大型遊具の充実した大きな公園、潮干狩り、いも掘り、みかん狩り、アスレチック、室内大型遊具施設、ハイキング、プールなど
クッキング	毎月(1回以上)開催 【実施例】カレー、チャーハン、ピザ、焼きそば、お好み焼き、たこ焼き、パフェ、ゼリー、プリン、ケーキ、クッキー、チョコパイ、アイスクリームなど
お誕生日会	毎月開催 ※誕生月のこどもがいない場合はクッキング
その他	保護者会(年2回)、事業所開放日(保護者の自由見学日)、避難訓練(3月・9月)、防災訓練(3月・9月)、買い物支援、乗り物支援、地域のイベント行事の参加、事業所開放の夏祭り、他事業所との合同イベントや交流会、親子遠足、ペアレントトレーニングなど